



## 2020年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月7日

上場会社名 スギホールディングス株式会社  
 コード番号 7649 URL <https://www.sugi-hd.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榊原 栄一

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 笠井 真

TEL 0562-45-2744

定時株主総会開催予定日 2020年5月20日

配当支払開始予定日

2020年5月21日

有価証券報告書提出予定日 2020年5月21日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期の連結業績(2019年3月1日～2020年2月29日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	541,964	11.0	29,762	15.3	31,473	15.6	20,782	15.8
2019年2月期	488,464	6.9	25,817	4.3	27,237	5.2	17,940	9.3

(注) 包括利益 2020年2月期 20,823百万円 (14.7%) 2019年2月期 18,147百万円 (10.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年2月期	336.21		11.9	10.9	5.5
2019年2月期	287.74		10.9	10.5	5.3

(参考) 持分法投資損益 2020年2月期 28百万円 2019年2月期 61百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年2月期	313,757	182,750	58.2	2,956.46
2019年2月期	265,481	166,563	62.7	2,694.59

(参考) 自己資本 2020年2月期 182,750百万円 2019年2月期 166,563百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	45,353	18,422	4,895	56,347
2019年2月期	22,894	22,362	13,897	34,311

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年2月期		35.00		35.00	70.00	4,329	24.3	2.7
2020年2月期		40.00		40.00	80.00	4,945	23.8	2.8
2021年2月期(予想)		40.00		40.00	80.00			

### 3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

2021年2月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期	63,330,838 株	2019年2月期	63,330,838 株
期末自己株式数	2020年2月期	1,516,887 株	2019年2月期	1,516,791 株
期中平均株式数	2020年2月期	61,813,992 株	2019年2月期	62,349,390 株

(参考)個別業績の概要

2020年2月期の個別業績(2019年3月1日～2020年2月29日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	51,296	17.9	16,920	19.3	17,378	17.1	13,834	19.0
2019年2月期	43,519	3.5	14,189	24.7	14,838	23.5	11,627	29.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期	223.80	
2019年2月期	186.48	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	259,954	163,504	62.9	2,645.10
2019年2月期	222,525	154,240	69.3	2,495.24

(参考) 自己資本 2020年2月期 163,504百万円 2019年2月期 154,240百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、新型コロナウイルス拡大防止の観点から開催を中止いたします。決算補足説明資料につきましては、当社ホームページで掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	13
役員の異動	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2019年3月1日～2020年2月29日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が緩やかに改善したものの、世界経済の回復の弱さを受けて、横ばいで推移しました。一方、先行きにつきましては、10月の消費増税による個人消費の低迷や新型コロナウイルスの全世界への拡大による経済活動の減速等が懸念され、依然として不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましても、新型コロナウイルスの拡大による一部商品の需要増加が見られたものの、消費増税後の消費マインドの低下や度重なる台風等の自然災害、競合他社との出店競争や業界の垣根を越えた販売競争の激化、人手不足による人件費及び物流費の高騰等、当社グループを取り巻く経営環境の厳しさは継続しております。

このような環境の中、当社グループは、超高齢社会に対応した事業領域の拡充を図るべく、お客様の健康維持・予防から介護・終末期のケアまでを一貫してサポートする「トータルヘルスケア戦略」に即した取り組みを推進するとともに、積極的な出店による地域シェアの拡大及び外需の取込みにも努めてまいりました。

具体的には、

- ・調剤事業の更なる拡大に向け、医療機関との関係強化及び医療機関併設店舗の拡充
- ・創業来の強みである資格者によるコンサルティングを中心とした接客販売体制の強化
- ・付加価値型プライベートブランド商品の開発・販売
- ・デジタルを活用したサービス(スギサポ等)の開発及び特定保健指導の提供体制拡充によるセルフケアの推進
- ・営業力強化及び生産性向上を目的とした各種システムの開発・導入及び人事制度の見直し

等に取り組んでまいりました。

店舗の出退店等につきましては、ドミナントの更なる強化に向けた関東・中部・関西・北陸エリアへの出店を強化するとともに、小商圏への対応やインバウンド対応の売場展開等、既存店の活性化を目的とした改装にも注力いたしました。その結果として、116店舗の新規出店、51店舗の改装、20店舗の閉店を実施し、また、訪問看護ステーション1拠点の買収を行ったことにより、当連結会計年度末における店舗数は1,287店舗(前期末比97店舗増)となりました。

以上の結果、売上高は5,419億64百万円(前年同期比11.0%増、534億99百万円増)、売上総利益は1,621億82百万円(同14.0%増、198億81百万円増)、販売費及び一般管理費は1,324億20百万円(同13.7%増、159億36百万円増)、営業利益は297億62百万円(同15.3%増、39億44百万円増)、経常利益は314億73百万円(同15.6%増、42億35百万円増)、これに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益は207億82百万円(同15.8%増、28億42百万円増)となりました。

なお、当社の事業セグメントは単一セグメントですので、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,968億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ275億34百万円増加いたしました。これは主に当連結会計年度末が金融機関の休業日であった影響等により現金及び預金が160億35百万円増加したことに加え、売掛金が84億13百万円、商品が39億93百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は1,168億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ207億41百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が82億65百万円、差入保証金が30億32百万円、建設仮勘定が24億62百万円、投資有価証券が20億95百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、3,137億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ482億76百万円増加いたしました。

#### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は1,157億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ303億68百万円増加いたしました。これは主に当連結会計年度末が金融機関の休業日であった影響等により買掛金242億38百万円増加したことに加え、未払法人税等が9億96百万円、賞与引当金が6億16百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は152億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億20百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が6億87百万円、資産除去債務が5億56百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、1,310億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ320億89百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,827億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ161億87百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が161億46百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は58.2%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、当連結会計年度の末日が金融機関の休業日であった影響等により、前連結会計年度末に比べ220億35百万円増加し563億47百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、453億53百万円(前年同期比98.1%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が299億26百万円、当連結会計年度の末日が金融機関の休業日であった影響等による仕入債務の増加が242億25百万円あった一方で、法人税等の支払額が95億8百万円あったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、184億22百万円(同17.6%減)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が660億円、有価証券の償還による収入が420億円あった一方で、定期預金の預入による支出が620億円、有価証券の取得による支出が370億円、有形固定資産の取得による支出が193億89百万円、差入保証金の差入による支出が46億59百万円あったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、48億95百万円(同64.8%減)となりました。これは主に配当金の支払額が46億34百万円あったこと等によるものであります。

## (4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの世界的拡大が国内外の経済に大きな影響を及ぼしております。

世界保健機関(WHO)により、新型コロナウイルスの拡大は世界的な大流行を意味する「パンデミック」と認定され、収束時期が見通せない状況となっております。また、日本国内においても新型コロナウイルスの患者数が増加しており、都市部を中心として不要不急の外出自粛が求められている状況であります。

このような状況により、次期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元の実現と安定した配当を継続していくことを基本方針とし、あわせて今後の事業展開に備えるために、内部留保の充実による財務体質の強化などを総合的に勘案して利益配分を決定しております。

上記の方針に基づき当期の期末配当は、1株につき40円とさせていただきます。これにより、中間配当40円を加えた年間配当は1株につき80円となります。

また、次期の配当につきましては、上記方針に基づき、1株につき中間配当40円、期末配当40円の年間配当80円とさせていただきます予定であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,311	81,347
売掛金	19,797	28,211
有価証券	13,000	10,000
商品	59,674	63,668
その他	11,580	13,669
貸倒引当金	△15	△13
流動資産合計	169,348	196,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	76,544	88,705
減価償却累計額	△32,816	△36,711
建物及び構築物(純額)	43,728	51,994
土地	7,248	7,858
建設仮勘定	2,359	4,822
その他	27,013	31,346
減価償却累計額	△18,648	△21,745
その他(純額)	8,365	9,601
有形固定資産合計	61,702	74,276
無形固定資産		
投資その他の資産	2,998	3,542
投資有価証券	1,247	3,342
長期貸付金	4	4
繰延税金資産	7,267	8,603
差入保証金	19,829	22,861
その他	3,119	4,265
貸倒引当金	△36	△23
投資その他の資産合計	31,431	39,054
固定資産合計	96,132	116,874
資産合計	265,481	313,757

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	58,241	82,479
未払法人税等	4,223	5,220
賞与引当金	1,339	1,955
その他	21,606	26,123
流動負債合計	85,410	115,779
固定負債		
退職給付に係る負債	5,692	6,379
資産除去債務	4,960	5,517
その他	2,854	3,330
固定負債合計	13,507	15,228
負債合計	98,918	131,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,434	15,434
資本剰余金	24,632	24,632
利益剰余金	135,661	151,807
自己株式	△9,296	△9,297
株主資本合計	166,431	182,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	251	317
退職給付に係る調整累計額	△119	△144
その他の包括利益累計額合計	131	172
純資産合計	166,563	182,750
負債純資産合計	265,481	313,757

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	488,464	541,964
売上原価	346,164	379,782
売上総利益	142,300	162,182
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	48,949	54,708
賞与引当金繰入額	1,324	1,934
退職給付費用	1,151	1,131
賃借料	21,872	25,926
その他	43,185	48,718
販売費及び一般管理費合計	116,483	132,420
営業利益	25,817	29,762
営業外収益		
受取利息	101	93
受取配当金	95	6
固定資産受贈益	523	595
受取賃貸料	1,568	1,660
受取手数料	363	566
その他	398	381
営業外収益合計	3,050	3,304
営業外費用		
支払利息	25	22
賃貸収入原価	1,061	1,142
固定資産除却損	213	249
その他	329	178
営業外費用合計	1,630	1,592
経常利益	27,237	31,473
特別損失		
減損損失	1,184	1,546
特別損失合計	1,184	1,546
税金等調整前当期純利益	26,053	29,926
法人税、住民税及び事業税	8,789	10,496
法人税等調整額	△675	△1,352
法人税等合計	8,113	9,144
当期純利益	17,940	20,782
親会社株主に帰属する当期純利益	17,940	20,782

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
当期純利益	17,940	20,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	137	66
退職給付に係る調整額	69	△25
その他の包括利益合計	207	41
包括利益	18,147	20,823
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	18,147	20,823

## (3)連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2018年3月1日至2019年2月28日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	15,434	24,632	122,102	△47	162,121
当期変動額					
剰余金の配当			△4,381		△4,381
親会社株主に帰属する当期純利益			17,940		17,940
自己株式の取得				△9,248	△9,248
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	13,558	△9,248	4,309
当期末残高	15,434	24,632	135,661	△9,296	166,431

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	113	△189	△75	162,046
当期変動額				
剰余金の配当				△4,381
親会社株主に帰属する当期純利益				17,940
自己株式の取得				△9,248
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	137	69	207	207
当期変動額合計	137	69	207	4,517
当期末残高	251	△119	131	166,563

当連結会計年度(自2019年3月1日至2020年2月29日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	15,434	24,632	135,661	△9,296	166,431
当期変動額					
剰余金の配当			△4,636		△4,636
親会社株主に帰属する当期純利益			20,782		20,782
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	16,146	△0	16,145
当期末残高	15,434	24,632	151,807	△9,297	182,577

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	251	△119	131	166,563
当期変動額				
剰余金の配当				△4,636
親会社株主に帰属する当期純利益				20,782
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	66	△25	41	41
当期変動額合計	66	△25	41	16,187
当期末残高	317	△144	172	182,750

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	26,053	29,926
減価償却費	7,389	8,412
減損損失	1,184	1,546
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32	610
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	653	646
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	△14
受取利息及び受取配当金	△197	△100
固定資産受贈益	△271	△397
支払利息	25	22
固定資産除却損	11	45
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,539	△8,391
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,074	△4,099
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,087	24,225
その他	△197	2,417
小計	32,085	54,851
利息及び配当金の受取額	161	29
利息の支払額	△25	△18
法人税等の支払額	△9,326	△9,508
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,894	45,353
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△72,000	△62,000
定期預金の払戻による収入	71,000	66,000
有価証券の取得による支出	△51,000	△37,000
有価証券の償還による収入	52,000	42,000
有形固定資産の取得による支出	△17,141	△19,389
無形固定資産の取得による支出	△937	△998
投資有価証券の取得による支出	△359	△2,011
関係会社株式の取得による支出	△461	—
貸付金の回収による収入	3	1
差入保証金の差入による支出	△3,364	△4,659
差入保証金の回収による収入	126	488
その他	△227	△853
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,362	△18,422
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△9,248	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△268	△244
配当金の支払額	△4,379	△4,634
その他	△0	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,897	△4,895
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,365	22,035
現金及び現金同等物の期首残高	47,676	34,311
現金及び現金同等物の期末残高	34,311	56,347

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」1,517百万円を「投資その他の資産」の「繰延税金資産」7,267百万円に含めて表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

当社グループは「ドラッグ・調剤事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

b. 関連情報

前連結会計年度(自2018年3月1日至2019年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは「ドラッグ・調剤事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の地域に所在する有形固定資産がないため、該当事項はありません。

当連結会計年度(自2019年3月1日至2020年2月29日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは「ドラッグ・調剤事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の地域に所在する有形固定資産がないため、該当事項はありません。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自2018年3月1日至2019年2月28日)

当社グループは「ドラッグ・調剤事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自2019年3月1日至2020年2月29日)

当社グループは「ドラッグ・調剤事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自2018年3月1日至2019年2月28日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自2019年3月1日至2020年2月29日)

当社グループは「ドラッグ・調剤事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自2018年3月1日至2019年2月28日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自2019年3月1日至2020年2月29日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり純資産額	2,694円59銭	2,956円46銭
1株当たり当期純利益	287円74銭	336円21銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2019年2月28日)	当連結会計年度末 (2020年2月29日)
純資産の部の合計額(百万円)	166,563	182,750
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	166,563	182,750
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数(株)	61,814,047	61,813,951

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	17,940	20,782
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益(百万円)	17,940	20,782
期中平均株式数(株)	62,349,390	61,813,992

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## 役員の変動

2020年1月27日開示「役員人事に関するお知らせ」に記載のとおりであります。